

世と教界を見る目を養う(11)

=バビロンと神の国=

エゼキエル18章;ヨハネ2章13-22節;マタイ25章14-30節;ヨハネ18章

(1)バビロン化の兆候

- ・マネーの変質:兌換紙幣(ゴールドの裏づけ)→不換紙幣(信用)→カードマネー(キャッシュレス)
- ・信用創造とは:初期額/準備率、ex.準備率10%で、100万あれば、1,000万創造→バブル化
- ・問題の本質:神に信頼するか、マネーに信頼するか→信仰の問題(ルカ16:13)→偶像礼拝の罪
- ・現代の特質:膨大な浮動マネー(1京5,000兆円)の行く先→オイル・ゴールド・素材などの高騰→インフレと景気後退(=スタグフレーション)cf.ヨハネ18章の商品群

(2)利息の問題

- ・同胞に対する利息は禁止、異邦人からはOK(申命記23:20,21)
- ・主は1タラントを地に埋めた僕に利子を生む銀行に預けておくべきだと言われた(マタイ25:27)→銀行とはテーブルorカウンターの意味(cf.ヨハネ2:13-22)
- ・利子(tokos)とは、産出または新芽の意味:銀行とはテーブル・カウンターであり、燭台を置く場(マタイ5:15)→地上に現れたエクレスシア(cf.汚れた女は枡の中にいる)
- ・タラントの分配はそれぞれの力(dunamis)に応じる→担保の設定(cf.ローマ12:3)
- ・土に埋めるべきは種であって、タラントではない:いのちは育つもの(マルコ4:27)、タラントは活用するもの(ルカ19:13)→いのちと働きの区別

(3) バビロンでは信用創造によって裏づけ・実質は何もない(=バブル化);

神の国ではいのちを担保とし、タラントの配分を受け、まことの利子、すなわちいのちの実を産出する

(4) 今後起きて来ること:ひとりひとりの心が露わになり、持っている者はますます富み、持っていない者は持っている物までも取り上げられる(二極分化)→管理の重要性!